



Photo 1 TENAMUビル前を一齐にスタート 2 獅子舞や太鼓の応援を背に駆け抜ける 3 給水ポイントでちょっと一息 4 ハーフマラソンを走る参加者 5 天候に恵まれ霧島連山がくっきり 6 家族でそろってゴール!

Photo 1 中央ふれあい広場をスタート 2 1日目のコースで生駒高原を歩く参加者 3 小林総合運動公園付近の様子 4 霧島岑神社の参道を登る参加者 5 ツーデーマーチ名物の心のごもったおもてなし 6 ゴールを目前に笑顔

3/3 Sun

# こばやし霧島連山 絶景マラソン大会

幅広い年代のランナー約 1100 人が小林的まちを疾走

# こばやし霧島連山 絶景ウオーキング

市内外から参加の約 1600 人が、市内の名所をウオーキングで満喫!

2/24 Sat  
2/25 Sun

## 小林高校卒の九嶋恵舜選手も所属する 東洋大学陸上競技部が参加!



②ハーフマラソンを走る九嶋選手 ③総合運動公園陸上競技場で行われた東洋大の選手による陸上教室

今大会には、箱根駅伝総合4位の東洋大学から、九嶋恵舜選手（小林高校卒）を含む5人の選手も招待選手として参加。九嶋選手は大会後のトークセッションで「名前を呼んでいただくなど、地元の皆さんの温かい声援をいただきがんばることができた」と話していました。大会前日の3月2日には、東洋大学の監督・選手による小・中・高校生を対象にした陸上教室も開かれました。



澄み渡るような青空のもと、3月3日に「第8回こばやし霧島連山絶景マラソン大会」が開催されました。当日はベテランランナーや親子連れのランナーなど、市内外から約1100人が参加しました。大会はTENAMUビル前をスタート、駅南をゴールとする、ハーフマラソン、3キロ、3キロファミリー、1.5キロ、1.5キロファミリー、5キロの6部門で開催。

「登り坂がきつかったけど楽しんで走れた。また参加したい」と話していました。大会後は、特産品が当たる抽選会や招待選手の東洋大学の選手によるトークセッションも開催されるなど、にぎわいました。

ウオーキングしながら市内の名所を巡る「第26回みやぎきツデーマーチこばやし霧島連山絶景ウオーキング」が、2月24日と25日に開催されました。JR小林駅前の中央ふれあい広場をスタート、ゴールに、24日は霧島岑神社や生駒高原、出の山公園などを巡る29キロ・22キロ・12キロ・5キロのコースを、25日は陰陽石や二原遺跡公園などを巡る28キロ・20キロ・10キロ・5キロのコースをそれぞれ設定。市内外から2日間で延べ約1600人が参加し、風景などを楽しみながらそれぞれのペースでゴールを目指しました。各地に設けられたチェックポイントでは、ツーデーマーチ恒例の地域住民などによるおもてなしを実施。完全きんかん「たまたま」やいちご、お菓子や豚汁などが振る舞われ、参加者は疲れを癒しました。

永田平公園でおもてなしを行った JA 女性部の皆さん（コメントは松田まり子部長） JA 女性部では8年前からおもてなしに参加していますが、全国各地のツーデーマーチの中でも、小林のおもてなしが一番だと参加者の方にはよるこばれます。各地から参加する方と話をしたり、「ありがとう」と言ってもらえるところが元気がもらえます。

福岡県北九州市から参加した西畑 通さん（12キロコースに参加） 地元小林市でのツーデーマーチ。顔見知りと会えるのを楽しみに、毎回参加しています。小林のコースは自然豊かで綺麗な水を感じられるコースで、特におすすめの場所は出の山公園です。地域の人のふるまひも温かくとても楽しかったです。

